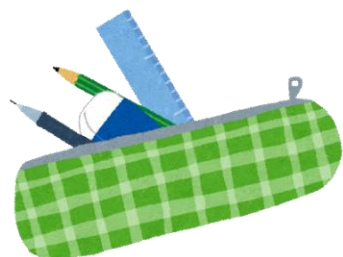
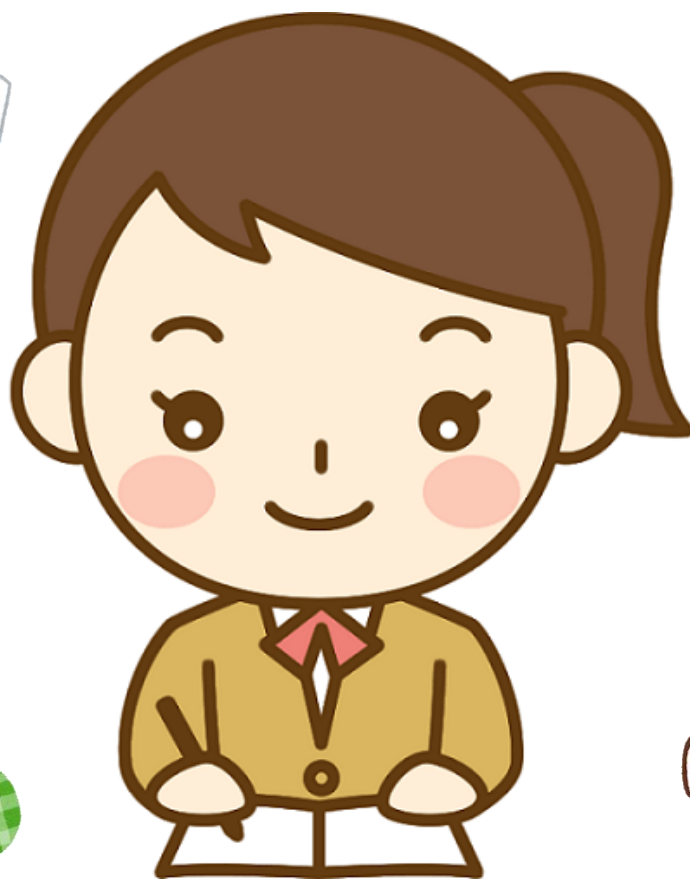
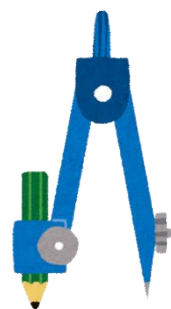


〈9年生〉

学習の手引き



令和7年度

八王子市立いずみの森義務教育学校



学習の手引き

学年 9年生	教科 国語	担当 宮本 萌音
--------	-------	----------

(1)学習の目標

- ・言葉の学習を通して語彙の量を増やし、自分の思いや考えをより豊かに表現することができる。
- ・文章や詩を読んで理解したことをこれまでの経験や知識を結びつけ、考えを広げたり、深めたりすることができる。
- ・話し合い活動や発表を通してより良い話し方・聞き方を身につけ、相手へのより良い伝え方を身につけることができる。
- ・見通しをもって、自ら進んで学習に取り組むことができる。

(2)学習内容

1学期	2学期	3学期
○文学的文章 ○説明的文章 ○古文 ○書く活動 ○話し合い活動 ○発表活動	○文学的文章 ○説明的文章 ○古文・漢文 ○書く活動 ○話し合い活動 ○発表活動	○文学的文章 ○説明的文章 ○書く活動 ○話し合い活動 ○発表活動

(3)評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○小テスト ○古文の暗唱	○定期テスト ○発表・話し合い活動 ○作文 ○ノート・プリントの内容	○課題の提出状況 ○ノート・プリント・ワークの取組内容 ○古文の暗唱への取組状況

(4)家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
① 教科書に出た漢字の読み書きをできるようにする。 ② 語句の意味や文章内容を理解し、教科書をよく読む。 ③ 授業で出された課題について丁寧に取り組む。	① 漢字の読み書きができるか、語句の意味を理解しているか確認をし、覚えるまで繰り返し学習する。 ② ノート・プリントをよく見直し、授業の内容を振り返る。 ③ ワークの問題を解き、赤ペンで丸付けをする。間違えた問題は繰り返し解き直しをする。

(5)先生からのアドバイス

- ・授業で使うノートは、縦書きで書くことができれば何でも構いません。(横書きのノートは縦書きにして使ってください。)
- ・プリントはノートに貼るなど工夫して、無くさないように自分で管理しましょう。
- ・ワークやプリントなどの提出物は提出日を守り、見通しをもって早めに取り組みましょう。
- ・忘れ物をした場合は、授業の前に先生に伝えましょう。
- ・普段から文字を丁寧に書くように心がけましょう。(読みにくい字はテストでは×になることがあります。)

学習の手引き

学年 9年	教科 社会	担当 戸田 健太(歴史・公民) 平山 正剛(公民)
-------	-------	------------------------------

(1) 学習の目標

① [知識・技能]

【歴史】歴史的事象の背景や事象を理解し、情報収集や年表などの資料にまとめるなどの技能を身につける。

【公民】現代社会における人権の意義、民主政治や経済の仕組みを理解し、資料を読み解く技能を身につける。

② [思考・判断・表現]

【歴史】歴史的事象の背景や生活との関りに着目し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

【公民】現代社会のさまざまな問題について注目し、多面的・多角的な視点から考え、適切に表現することができる。

③ [主体的に学習に取り組む態度]

【歴史】歴史的事象に関する課題に対して、主体的に追求している。

【公民】現代社会でおきた出来事や課題に対して解決を視野に主体的に社会へ関わろうとしている。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
【歴史】 ○明治維新～日清・日露戦争 ○第一次世界大戦～世界恐慌 【公民】 ○現代社会と私たちの生活 ○現代の日本と世界 ○個人の尊重と日本国憲法	【歴史】 ○第二次世界大戦～現代社会 【公民】 ○現代の民主政治と社会 ○現代の日本と世界 ○私たちの暮らしと経済	【公民】 ○私たちの暮らしと経済 ○地球社会と私たち ○より良い社会を目指して

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○カラープリント ○小テスト ○単元ワークシート	○定期テスト ○ワークシート、発表 ○ファイル ○調べ学習のまとめ	○ファイル ○定期テストの解きなおし ○カラープリント、授業プリント

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業のあった日に、その日の内容を振り返る ・教科書を読み(2ページ分)、ファイルを見返す ・授業プリントの授業の振り返りを確実にを行う ○定期的に配られるカラープリントを解く	○ファイルなどで授業内容を振り返る ○カラープリントやテスト対策プリントを解く(間違えた問題やできなかった問題は解き直す) ○時間的な余裕があれば自作のまとめノートなどを作る。

(5) 先生からのアドバイス

・歴史、公民とも、9年生の学習内容は扱う内容が多く、仕組みや考えなどの抽象的な内容を学びます。そのため、授業の内容はその日のうちに定着させるようにしましょう。また、新聞やニュース番組などを見て、世の中に関心をもちましょう。

学習の手引き

学年	9学年	教科	数学	担当:唐亀・高橋和・宮内・高橋直 (学期によって担当者が変わります)
----	-----	----	----	---------------------------------------

(1) 学習の目標

- 多項式の展開と因数分解はスムーズにできるようにする。
- 平方根の必要性和意味を理解、平方根を含む簡単な式の計算をすることができるようにする。
- 二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解して、平方の形に変形したり因数分解したり、解の公式を用いて、二次方程式を解くことができる。また、二次方程式を具体的な場面で活用することができる。
- 関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。
- 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解し、三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。
- 円周角と中心角の関係の意味を理解し、円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。
- 三平方の定理の意味を理解し、三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。
- 母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取ることができる。

(2) 学習内容(目安)

1学期	2学期	3学期
○式の展開と因数分解 ○平方根 ○二次方程式	○二次方程式 ○関数 $y=ax^2$ ○図形と相似 ○円の性質	○三平方の定理 ○標本調査とデータの活用

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○単元テスト ○小テスト ○休み明けテスト	○定期テスト ○単元テスト ○小テスト ○休み明けテスト	・授業観察 ・宿題の提出状況 ・自己分析シート ・ファイル ・小テスト ・単元テスト

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
◎間違えた問題は、なぜその解き方をするのか、どのように考えているかに注意して解きなおしをする。 ◎授業の内容は、すぐに復習し、基礎基本を定着させる。 *同じ問題でも構わないので、何度も繰り返し学習する。(正解率を上げること、スピードをつけることを目的とする。)	◎間違えた問題を、何度も解きなおす。 ◎難しい問題に挑戦する。 *「わかる」ではなく「できる」ようになるまで学習する。

(5) 先生からのアドバイス

9年生の数学は、2乗に対して強くなる必要があります。また、学習の繋がりが強くなり、以前の単元ができないと次の単元は理解できなくなる特徴があります。そのため、1学期の計算の分野でつまずかずに乗り切ることが非常に大切です。忘れないようにしっかり復習に取り組みましょう。数学では、解いたことがある問題と全く同じ問題に出会うことはほぼありません。しかし、同じような解き方をする問題がほとんどです。そのため、解けなかった問題と出会ったときには、途中式を追うだけでなく、その式や考え方に至るまでの過程を大事にしてください。丁寧に学習していけば、入試も怖くありません。1年間粘り強く頑張りました。

学習の手引き

学年	9年生	教科	理科	担当	菅原
----	-----	----	----	----	----

(1) 学習の目標

- ・ 自然の事物・現象の中に問題を見いだす。(⇒不思議だなと感じることや、どうしてだろうと疑問をもつことが大切。)
- ・ 見通しをもって観察、実験などを行う。(⇒何のために観察や実験を行うのか、目的をしっかりと理解して取り組もう。)
- ・ 得られた結果を分析して解釈する。(⇒観察や実験からどんなことが分かるのか、自分の頭でしっかり考えよう。)
- ・ 单元ごとに振り返りを行い、次の学びにつなげる。

このような学習活動を通して、後期課程での3年間で、「問題を科学的に探究する力」を育ててほしいと考えています。

そのために、9年生では、特に【探究の過程を振り返り、次の学びにつなげること】に力を入れていきます。

(2) 学習内容

I 学期	2学期	3学期
○生命の連続性 ○化学変化とイオン	○運動とエネルギー ○宇宙を観る	○宇宙を観る ○自然と人間 ○後期課程の総復習

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト・小テスト 等 ・実験のパフォーマンステスト※ ・実験への取り組み※ (※基本的な操作が習得できているか) ・ワークシート・レポート(基本的な技能)	・定期テスト・小テスト 等 ・ワークシート・レポート (①考察の記述内容 ②表やグラフや図を使ってわかりやすくまとめられているか) ・授業中の発表	・自主レポート・ノート (口頭での論説含む ◎+α ◎継続) ・振り返りシート (◎知識技能の活用 ◎対話を通した気づき ◎課題解決への試行錯誤) ・イメージマップ (単元の内容に関して ◎自己の成長や変容を表現 ◎用語の量・内容・関係) ・実験等に主体的に取り組む姿勢

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業で習ったことは、その日のうちに振り返りましょう。解らないことは、次の授業までに解決しよう。毎日の積み重ねが大事です!! ○気になったこと、疑問に思ったことは、どんどん調べてみましょう。授業以外の時間で、主体的に粘り強く学習に取り組むことにより、問題を科学的に探究する力を大きく育てることができます。	○試験は、主に授業で学習したことから出題します。まずは、教科書、ノート、授業で使用したプリントを見直しましょう。 ○見直しが終わったら、問題集や、プリントを何度も解いてみましょう。初めに解くときには、間違えた問題にしるしをつけましょう。2回目・3回目と、間違えた問題にくりかえし取り組むと弱点が克服できます。

(5) 先生からのアドバイス

9年生の理科は、「より広範囲に」「より細かく」学習が進んでいきます。教科書や資料集の図等を参考にして、イメージを膨らませてください。また、義務教育で学んだ「理科」という教科の集大成として、社会人として知っておくべき事柄や問題についても学びます。地球に生きる1人として、広い視野をもって学習に取り組んでください。

学習の手引き

学年 9年	教科 英語	担当 小川・関谷・林
-------	-------	------------

(1) 学習の目標

【聞くこと】説明や日常の会話、身近な事柄についての簡単なニュースなどを聞いて必要な情報や内容を聞き取ることができる。

【読むこと】コラムや物語、説明文を読んで、内容を読み取ることができる。インタビュー記事などを読んで、意見のポイントなどを読み取ることができる。

【話すこと(やりとり)】身近な話題や社会的な話題について内容を踏まえて話し合いができる。

【話すこと(発表)】日常的な話題や社会的な話題について自分の考えや気持ちなどを即興で話すことができる。

【書くこと】事実や自分の考えを整理してエッセイやポスターを書くことができる。読んだ英文をふまえて、自分の考えや感想及びその理由について具体的に書くことができる。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
Lesson 1(現在完了形復習) Lesson 2(現在完了進行形・ help +原形不定詞・It for A to ~) Lesson 3(受け身) Project 1 Reading Lesson 1	Lesson 4(後置修飾) Lesson 5(関係代名詞主格・want + 人 + to) Lesson 6(関係代名詞目的格) Project 2 Reading Lesson 2	Lesson 7(仮定法) Lesson 8(間接疑問文) Project 3 Reading Lesson 3

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト・休み明けテスト ○単語テスト・リスニングテスト ○パフォーマンステスト(スピーチ・インタビュー・プレゼンテーションなど)	○定期テスト ○リスニングテスト ○パフォーマンステスト(スピーチ・インタビュー・プレゼンテーションなど)	○パフォーマンステスト(スピーチ・インタビュー・プレゼンテーションなど) ○パフォーマンステストの振り返り ○課題への取り組み方

※パフォーマンステストは、Take Action, GET Plus, USE Write / Speak, Projectなどで取り組む内容も含まれます。

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○復習を大切にしましょう →・宿題に取り組む ・単語テストに向けた単語の練習 ・繰り返し音読をする ・授業で学習した部分のワークで問題に取り組む ○単語練習などは、声に出して書いて覚えていくとよい	○ワークなどで間違えた問題を中心に繰り返し取り組む ○テスト範囲の教科書や授業プリントを見直す ○学習したことを活用して英文を書く練習をする ○デジタル教科書を使って学習した英文を読み上げる

(5) 先生からのアドバイス

7・8年生で学習した内容を基に、9年生の学習は進んでいきます。今まで以上に、新しい文法や単語を学習する→単元の最後で活用する、という流れを意識していきましょう。覚えたことや身に付けたことを生かしていくことが大切です。この1年は、これまで学習したことをすべて活用して自分の意見や考えを表現できるように取り組んでいきましょう。また、友人や先生と対話したり、デジタルコンテンツを活用したりして、自分の言葉で生き生きと話せるようにしていきましょう。

学習の手引き

学年	9 年生	教科	音楽科	担当	木下知美
----	------	----	-----	----	------

(1) 学習の目標

- ・音楽活動の楽しさを体験し、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばす。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

(2) 学習内容

I 学期	2学期	3学期
○歌唱「花」「課題曲」 ○鑑賞「ブルタバ」 ○指揮 ○楽典・リズム	○歌唱「課題曲」「自由曲」 ○鑑賞「世界の諸民族の音楽」 ○著作権 ○楽典・リズム	○歌唱「卒業式の歌」 ○鑑賞「日本の伝統音楽」 ○楽典・リズム ○音楽史

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱等) ・定期テスト ・小テスト	・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱等) ・定期テスト ・小テスト	・振り返りカード ・授業プリント ・提出物 ・授業態度 ・実技テスト態度

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
実技教科は週 1 回しかないので、毎回の授業を大切に積極的に受けてください。分からないことを、すぐに聞くことも大切です。	授業で学習した内容を思い出し、教科書、ワーク、プリントを中心に復習してください。

(5) 先生からのアドバイス

毎回の授業を大切に受けてください。実技教科なので、身体で表現をすること、自分の言葉(文字や発言)で表現することが大切です。音楽の授業で身に付けるべき基本は7年生から3年間繰り返し出てきています。7・8年生で学習したことをもう一度復習しておきましょう。歌うこと、音楽を聴くこと、仲間とともに学ぶことが楽しくなるような雰囲気を作りながら、一緒に授業を進めていきましょう。

学習の手引き

学年	9年	教科	美術	担当	隆藤 さえ子
----	----	----	----	----	--------

(1)学習の目標

- ①ものごとを捉える造形的な視点について理解する。
- ②意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ③自然や美術作品などの良さや美しさ、表現の意図や工夫、機能美を感じる。
- ④美術の働きについて独創性・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練る。
- ⑤主体的に活動に取り組み、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

(2)学習内容

1学期	2学期	3学期
○エ芸「木のスプーン」 ○鑑賞「ピカソ～リアルってなんだ？」	○鑑賞「フリーダ・カーロ」 ○自「我」像～15歳の存在証明	○自「我」像～15歳の存在証明 ○「現代アート」について学ぶ ○まとめ「君たちはどう生きるか」

(3)評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
定期テストの筆記問題、作品提出状況（時間内に完成を原則とする）、作品の途中経過、完成作品	下描き用紙（アイディア）、発想用ワークシート、定期テストの筆記問題、美術史ワークシート、プレゼンシート、鑑賞シートの内容	授業観察、定期テストの筆記問題、発想用ワークシート、美術史ワークシート、 <u>振り返りシート</u>

(4)家庭学習方法

通常の学習方法	テスト前の学習
○発想の手助けとなるような資料（本や写真、イラストの手本など）を準備する。 ○思いついたアイディアがあれば、スケッチやメモなどをして置いて、それを授業に持ち込む。また、授業以外の時間でも発想や構想を練っておくとスムーズに制作できる。 ○作品の制作意図や、他者の作品を見て思ったことを具体的に説明する。	○筆記問題については、テスト範囲の内容を繰り返しノートに書き写すなどして覚える。（技法や美術史、作家に関する内容が多い。） ○記述問題も出題するので、日ごろから自分の考えを文章にまとめる練習をしておく。

(5)先生からのアドバイス

- 日ごろから身の周りを見て「きれいだな」「素敵だな」「かっこいいな」と、感動する気持ちを大切にしてください。良いものを見て感動したら、メモやスケッチ、画像などを残しておくことで授業にも生かれます。
- 発想や構想を練る段階で、時間がかかってしまう生徒が多いです。授業時間内に発想や構想の段階で止まってしまうと、その先が進まなくなってしまう、下描きを描いたり色を塗ったりする時間が無くなってしまう。制作の時間配分と、事前準備が重要です。自宅でもアイディアを練るなど授業以外の時間を積極的に活用しましょう。
- 主として学校で制作した状況を評価していきます。制作に遅れが出た場合、原則として、決められた場所と時間に居残りをして遅れを取り戻します。
- 既存のアイディアを参考にするのはかまいませんが、必ず自分なりの工夫を加えましょう。あなたにしかできない作品を期待しています！

学習の手引き

学年	9年生	教科	保健体育	担当	砂原侑紀
----	-----	----	------	----	------

(1) 学習の目標

- (ア) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○陸上競技(短・長距離走、リレー) ○体づくり運動 ○器械運動(マット運動) ○球技(ネット型) ○保健 健康と環境	○水泳 ○陸上競技(走り幅跳び・走り高跳び) ○球技(ベースボール型) ○球技(ゴール型) ○体育理論 スポーツの文化的意義、国際大会の役割、人々を結びつけるスポーツ	○球技(ラケット型) ○球技(ゴール型) ○保健 健康な生活と疾病の予防

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト ・実技テスト ・試合などでの動き・チームへの貢献度など	・定期テスト ・学習カード、保健のプリントの記述内容	・授業時の観察 ・学習カード・保健のプリント等における記述

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
毎回の授業を大切にしてください。 自分の体力や技能を高めていきましょう。 「知識・技能をどれだけ身に付けたか(習得)」だけでなく、「学習した知識・技能をどのように生かしているか」「自らの考えて、いかに活動の仕方を工夫しているか」「自らの考えて、いかに活動の仕方を工夫しているかなど主体的・意欲的な態度を養っていきましょう。	【定期テスト】実技の学習カード・保健のプリント、教科書、図解中学体育を使って学習してください。 授業で説明した内容、学習カードの内容をよく確認しておきましょう。 【実技試験】 実技試験前にポイントを説明します。その説明を聞き、授業で練習等する時間があります。

(5) 先生からのアドバイス

- ・各運動種目の特性を理解し、目標をもって運動に取り組みましょう。
- ・自ら進んで学習し、運動の喜びや楽しさを体感しましょう。
- ・仲間と協力し励まし合い、互いに認め合いながら運動に取り組みましょう。
- ・見学の場合は、決められた手順をとり、見学態度を考えて見学しましょう。
- ・試験(実技、記録測定、定期テストなど)を頑張りましょう。普段から授業を大切にしましょう。
- ・得意・不得意な種目、いろいろありますが運動を楽しく取り組めるように協力していきましょう。

第9学年

学習の手引き

学年	9年生	教科	技術科	担当	伊達裕二
----	-----	----	-----	----	------

(1) 学習の目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
○エネルギー変換の技術(電気) (ウッディキューブラジオ製作)	○エネルギー変換の技術(電気) (ウッディキューブラジオ製作) ○情報の技術 (プログラミング(Scratch など))	○情報の技術 (プログラミング(HP の作り方))

(3) 評価の観点及び材料

項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点	・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。 ・生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	・生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで(試行錯誤していねいに粘り強く)実践しようとする。
材 料	・定期考査 ・実技	・実技 ・課題	・提出物の内容 ・作業の様子

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・授業中はメモを取る(提出)。 ・材料、エネルギー、生物育成、情報などに関心をもつ。 ・作ってみる、修理してみる。	・授業内容の復習。 ・授業プリント、教科書を理解する。

(5) 先生からのアドバイス

- ・社会で起きているいろいろな問題に興味をもちましょう。
- ・自分で考えて作ってみたり、簡単に捨てずに修理してみたりしよう。

学習の手引き

学年 9学年	教科 家庭	担当 梶木美穂
--------	-------	---------

(1) 学習の目標

- ・自分の成長を振り返りながら、家族や地域の人々との関わりや幼児の成長について学ぶ。
- ・幼児の成長の手助けができるように考える。
- ・高齢者の生活を理解し、家族や地域の人々の手助けができるように考える。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
・ガイダンス（授業内容と受け方） ・幼い頃の振り返り ・幼児の発達の概要 ・幼児の 1 日の生活 ・幼児と遊び ・支えられて身に付ける生活習慣	・幼児の心身の発達と家族の役割 ・私たちの生活と家族・家庭の役割 ・中学生としての自立 ・家庭生活と地域との関わり ・衣服製作（ティッシュケース） ・調理実習	・高齢者の体と食事 ・これからの家族と地域 ・卒業後の自分の生活

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト ・授業プリントへの記録と考察 ・遊具の作成 ・衣服製作	・定期テスト ・遊具の作成 ・自分の生活への考察 ・提出物への取り組み状況	・授業プリントの記録と振り返り ・保育に関する情報収集 ・高齢者に関する情報収集

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・指示された作業や課題に取り組む。 ・保育や高齢者に関連する情報を得るように、ニュースや新聞等を見る。 ・日常の生活圏で見かける幼児の様子に気を配る。 ・日常の生活圏で見かける高齢者の様子に気を配る。	・教科書や授業のプリントの内容を見直し、重要な部分を確認する。

(5) 先生からのアドバイス

成長し変わっていく幼児期を知ることで、今の自分の成長と周囲との関わりを広く深く考えてください。また、将来の生活についても考えていきましょう。

また、幼児や高齢者に関する情報にも関心をもち、社会の一員としての考えや行動内容なども一緒に考えていきましょう。